

第13回鉄道利用運送推進全国大会 事例発表

鉄道コンテナ輸送の新たなニーズについて

# 静岡～関西圏への 近距離輸送の獲得

2018年2月2日

清水運送株式会社 通運部

部長 杉山 成

1



清水運送

# 目次

---

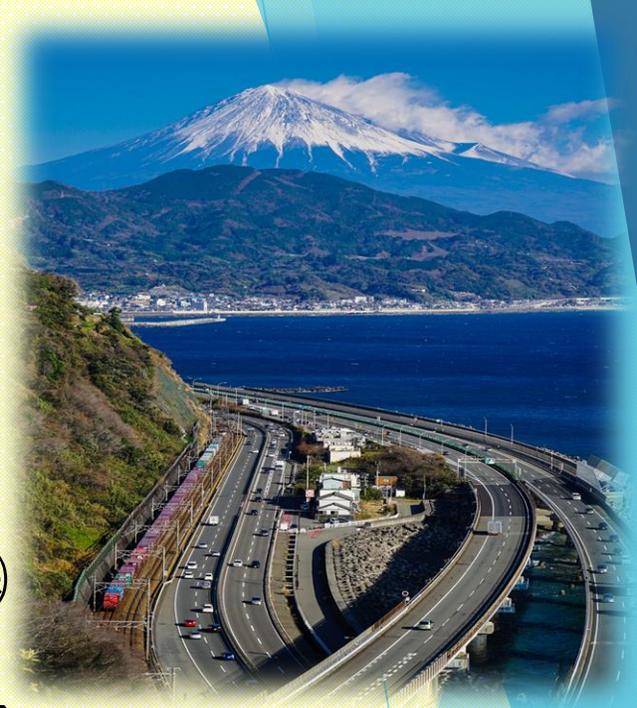
## 新たな鉄道コンテナ輸送ニーズについて

### ～ 静岡から関西圏への**近距離輸送**の獲得 ～

- 1、会社概要
- 2、静岡県の高速道路と貨物駅
- 3、静岡貨物駅概況
  - 方面別実績
  - 品目別発送実績
- 4、事例紹介
- 5、荷主（東芝ライテック）様のご紹介
- 6、鉄道輸送の選定理由と背景
- 7、輸送変更への取組み
- 8、輸送モード変更の成功ポイントと効果
- 9、H29上期 お試しキャンペーン実績
- 10、今後の課題について

# 1、会社概要

- ▶ **清水運送株式会社** (静岡県静岡市清水区)
- ▶ **創 立** 昭和2年 4月1日 (昨年 創立90周年)
- ▶ **資 本 金** 9,600万円
- ▶ **代 表 者** 取締役社長 岡村 元紀
- ▶ **従 業 員 数** 190名
- ▶ **グループ会社** 清水キャリアサービス(有)、ベルエクスプレス(株)
- ▶ **事業内容**



● **鉄道利用運送事業** (取扱い貨物駅 : **静岡貨物駅 / 富士駅** )

**保有車両 : TR×1台、2基積×8台、1基積×3台 / 12台**

● **貨物自動車運送事業** ● **貨物自動車利用運送事業**

**保有車両 : TR×11台、増トンW×55台、ローリー×30台、4t×13台、2・3t×15台 / 計 118台**

● **倉庫業** (6拠点) **床面積 8,162坪**

● **船舶代理店業** ● **通関業** ● **海運貨物取扱業**

## 2、静岡県の高速道路と貨物駅



平成31年度：中部横断自動車道全線開通予定

区間：新清水JCT（静岡市）～佐久小諸JCT（長野県小諸市）

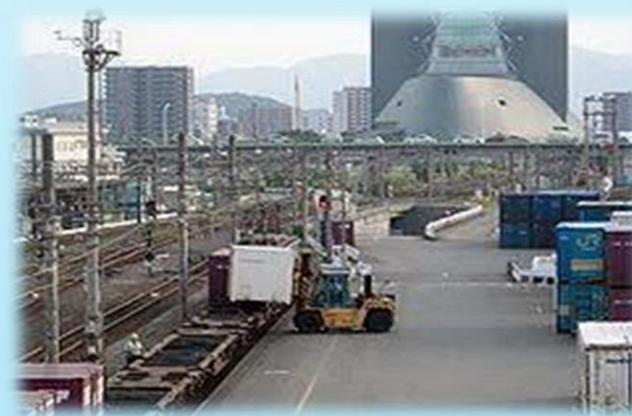


平成24年4月  
新東名高速道路開通

区間：御殿場JCT ～  
浜松いなさJCT

RORO船（H30・4月、デイリー化へ）

### 3、静岡貨物駅概況

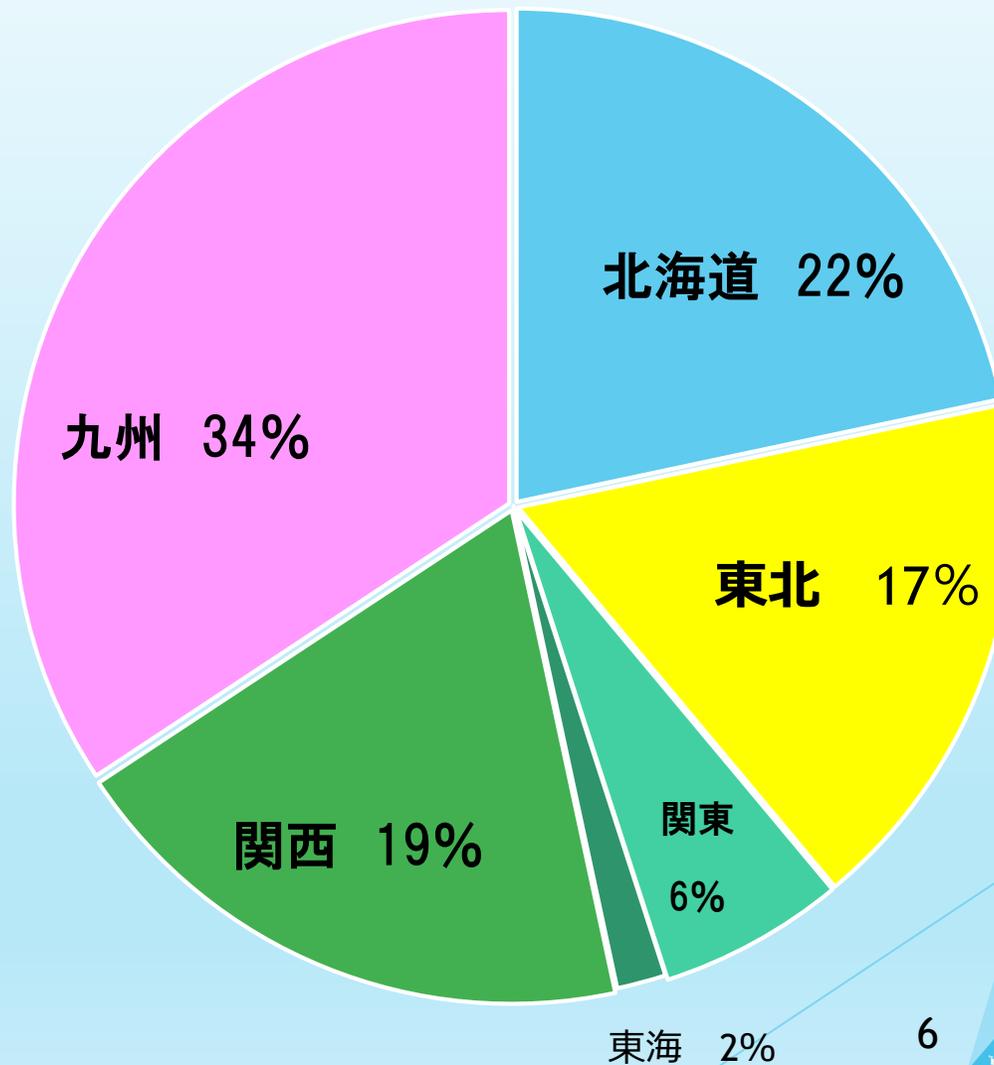


東海道線 JR東静岡駅隣接 静岡市駿河区池田346 (総面積 115,187m<sup>2</sup>)

1993年移転 着発線荷役方式 (E & S方式) を導入

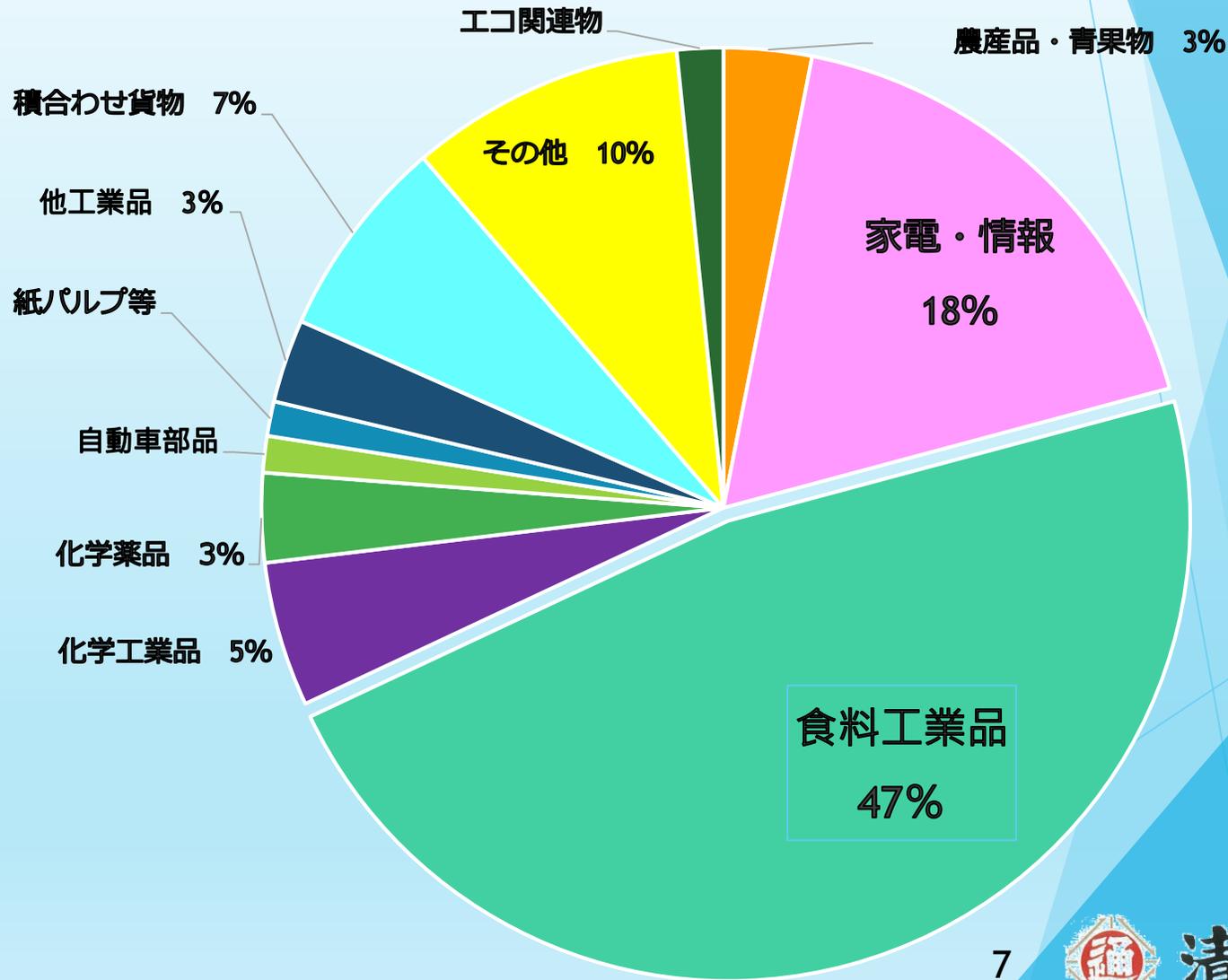
# 静岡貨物駅発 方面別実績

着支社名	平成28年度
北海道	56,071
東北	44,808
関東	15,741
東海	4,156
関西	49,334
九州	88,833
合計	258,943
	(単位：トン)



# 静岡貨物駅 品目別発送実績

品目名	平成28年度
農産品・青果物	7,980
家電・情報	45,920
食料工業品	122,185
化学工業品	13,175
化学薬品	8,110
自動車部品	3,325
紙パルプ等	3,145
他工業薬品	7,570
積合わせ貨物	18,385
その他	24,958
エコ関連物	4,190
合計	258,943
	(単位：トン)



## 4、近距離輸送獲得の事例紹介

東芝ライテック株式会社 様

鈴与株式会社 富士支店 様

# 関西エリア 鉄道輸送利用拡大

- ・ 利用運送事業者と協業
- ・ トレーラー輸送から J R コンテナ化へ



## 5.東芝ライテック株式会社 様のご紹介

- **主要商品** : LED電球、LED照明、住宅用・施設屋外用照明器具等の製造ならびに販売。各種照明制御システム等の設計、施工。
- **受賞実績** : 平成29年度 省エネ大賞受賞 「資源エネルギー庁長官賞」
- **工場他** : 鹿沼工場、沼津工場、川崎事業所、今治事業所
- **物流センター** : 北海道（恵庭市）、千葉（柏市）、大阪府（住之江区）、福岡（福岡市）  
静岡県（富士市）に物流拠点を所有

■ **取組案件** : 鈴与(株)富士支店の物流センターより、東芝ロジスティクス(株)住之江物流センター向けの輸送

■ **実運送距離** : 約 3 8 0 km



## 6. 鉄道輸送の選定理由と背景

### ① 安定的な輸送の確保

トラック輸送が主体の 400km圏内の車両確保が困難に

### ② 長時間労働の解消

工場や大型施設向けの商品は約6千アイテムあり、パレット化が難しく、  
トラック1台当たりの積込作業が3時間超と、作業の効率化が困難な貨物

### ③ 運賃

将来的には人件費や燃料費の上昇によりトラック運賃のUPが不可避

※すなわち、トラック輸送は

- ドライバー不足
- コンプライアンスの遵守（拘束時間等）
- 高齢化による手積み貨物の敬遠
- 働き方改革による長時間労働の見直し  
に直面。

## 7. モーダルシフトへの取組み



- トラックの入出庫作業は、朝、夕方以降に集中する点に着目し、作業の薄い昼間の時間帯での積込みを提案。
- 11:00時点でコンテナ3基分のオーダーを前倒し抽出し、ピッキングをスタート。  
11:30積み込み作業開始。

	(Before) トラック輸送	(after) JR輸送	備考
毎日固定	20tトレーラー	12fコンテナ × 3基	2基積×1台、1基積×1台
集荷時間	夜間出荷(22:00~) 積込所要時間: 3時間	11:30~13:00の時間帯 に入車し作業開始	昼休み時間帯を利用 1基40~50分の積込時間
納入時間	翌日 5:00納品	翌日10:30迄に納品完了	納品先時間帯の緩和
荷降	後方卸 (高床ホーム)	2社体制での配送 (3台の車両確保)	納品入時間の短縮

# 8. 輸送モード変更の成功ポイントと効果

モーダルシフト条件として

⇒コスト、納期、品質が、現状がない。

東芝ライテック(株)

アドバンテージ（競争優位性）

全国通運連盟

鈴与(株)富士支店

【成功ポイント】

- 荷主へ提案と説得（出荷体制・時間等の調整、定時・定量輸送のメリット）
- J R 貨物への依頼（輸送枠の調整/定型）
- 着荷主依頼（着荷主依頼の緩和と作業場所の確保）
- 着運送店への依頼（納品時間への柔軟な対応）
- お試しキャンペーンの活用 P R （公益社団法人 全国通運連盟様）

J R 貨物

着荷主

弊 社

着運送店

それぞれの関係者が共通の土俵に上がり、トライアルを繰り返し成果を確認。  
当社単独の努力では、実現しない案件であった

## 【効果】

### ① 定時、安定、大量輸送を計画的に実現

- ・ 定型により安定した輸送を実現
- ・ トレーラーと比べ積込出荷所要時間が1/3に短縮

### ② 繁忙期のトラック確保や配車手配作業の負担を軽減

- ・ 目に見えない間接費用の削減
- ・ 繁忙期の輸送コスト増の抑制

### ③ 出荷地、到着地における作業平準化

- ・ 作業時間の分散により時間外作業の削減
- ・ 作業員の確保が容易に
- ・ トラック待機時間の圧縮を実現

### ④ 環境問題への配慮

- ・ CO2排出量がトラック輸送と比べ1/9に削減
- ・ エネルギー消費量も大幅削減

### ⑤ コストの削減

運賃、出荷作業料のトータルで実現

**★静岡貨物駅発 12f コンテナ日発3個 月間取扱 約60コンテナを受注**

★現在、関西向けの増便と帰り荷として北陸方面からの到着貨物の誘致に取組中！

**鉄道コンテナの集配は、手待ち時間を含めた時間短縮の中でいかに回転数をあげるかが勝負 荷主の理解と協力を得て、WIN-WINの関係を構築**

# 9.平成29年度上半期 お試しキャンペーン実績

## 1. 調査件数

	総計	
①新規獲得	242件	59%
②既存・輸送品質改善	50件	12%
③既存・新規区間拡大	120件	29%
計	412件	100%

## 2. (1) 申請内容別継続率

	申請別継続率					
	継続利用予定あり		継続利用見込みあり		継続しない・他	
①新規獲得	140件	58%	91件	38%	11件	5%
②既存・輸送品質改善	39件	78%	11件	22%		
③既存・新規区間拡大	86件	72%	32件	27%	2件	2%
計	265件	64%	134件	33%	13件	3%

## 2. (2) 鉄道輸送距離帯別継続率

	距離帯別継続率					
	継続利用予定あり		継続利用見込みあり		継続しない	
～400km	36件	68%	15件	28%	2件	4%
～600km	29件	62%	16件	34%	2件	4%
～800km	32件	64%	18件	36%		
～1000km	50件	69%	20件	28%	2件	3%
～1200km	47件	64%	22件	30%	4件	5%
～1400km	29件	58%	19件	38%	2件	4%
1400km超	42件	63%	24件	36%	1件	1%
計	265件	64%	134件	33%	13件	3%

## 10. 今後の課題について

長距離輸送のみならずドライバー不足の慢性的な状況は運送業にとって喫緊の課題であり、近距離輸送のモーダルシフトも増加していくと思われる。

- **発運送店** ⇒ 荷主へ対し丁寧に J R 輸送の仕組みと実績や効果を説明
- **JR貨物** ⇒ 輸送力の増強、他ルートの設定
- **着運送店** ⇒ 配送協力、着荷主との協力関係の構築
- **各荷主様** ⇒ 納品時間の緩和（午後納品など）、リードタイムの拡大
- **RORO船（海上輸送）** ⇒ J R 輸送との長所・短所を明確にし棲み分けを図る

お試しキャンペーンの利用と、各社の培ったノウハウをご提案し、鉄道輸送がお客様から選ばれ信頼される輸送手段へ！！

## 関係者の皆様に感謝！！

●2017年9月15日発行 JR貨物ニュースに掲載  
～利用運送事業者と協業LED照明を鉄道コンテナで～

●2017年11月28日 (社)日本物流団体連合会様より  
第4回モーダルシフト最優良事業者賞「新規開拓部門」  
受賞

ご清聴ありがとうございました。

